

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			部屋数、及び空間的な余裕があることから、子どもの状態に合わせた場所の提供を行っております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			規約に則り、必要十分な職員配置を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所内は段差がないなど、障壁はありませんが、3階という立地上、階段等の安全面に課題があると認識し、注意喚起の張り紙、必要な方への昇降時のサポートなどの方策を講じています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			課題への対処において、事業所としてPDCAサイクルの考え方に基づく方策を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者等向け評価表の結果を集計・分析し、業務改善の指標とするとともに、日常的にも保護者の意向確認を行い、課題点の把握に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開すると共に、それによりいただくご意見を事業に反映させて参ります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現状、定められた第三者評価の仕組みがないことから、検討して参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に一度以上の勉強会の実施、適宜の関連研修会等への参加を通じ、資質の向上を図っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			過去の検査結果、面談時の行動観察、保護者からの聞き取り等を総合的客観的に勘案し、協議の上で計画策定を行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			契約時に子どもの社会適応性を測定するアセスメントツールを実施。結果を支援に援用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個別のプログラムは担当立案を基調としているが、ミーティングにおいて共有の上で意見交換を行っています。集団のプログラムは、スタッフ全員による協議の上で決定しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎回の活動記録を参照し、集団指導のプログラムを毎回変更するよう努めています。また、季節に応じたイベントも実施しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			必要に応じ、個々の子どもの学校生活の状況(テスト期間、長期休暇中の宿題等)を踏まえた支援を、保護者とも確認の上で実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者のニーズ、年齢を考慮した、適切な個別・集団活動を想定した計画づくりに努めています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			事前の全体ミーティングにおいて、その日の支援内容や全体のワークの流れについて、確認を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援場面のみならず、コミュニケーションを通じて変化に気づいた際は、都度情報を共有し、その後の支援に活かすよう心掛けています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			客観的記録となるよう心掛けることで、子どもの育ちに気づき、適切な目標設定が図れるよう努めています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		年2回以上、計画の妥当性を所内で協議すると共に、日常的な保護者とお話を通じ、必要とあれば随時の計画の見直しも検討しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		ガイドラインの趣旨に則った事業運営を心掛けておりますが、機関連携をより充実させて参りたいと考えます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		会議出席要請に対しては、子どもの状況を最も把握しているスタッフ(管理者、担当指導員)が出席します。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○	送迎を実施していないことから、日常的な学校との情報共有は難しい所ですが、保護者を通じた学校状況の把握には努めています。今後、連携会議等を通じた相互理解を図りたいと考えています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	該当者不在の為、現状での機会はありませんが、必要時には保護者同意のもとで、体制構築を図ります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		情報共有の為の仕組みが確立されているわけではありませんが、保護者の希望があれば、児童発達支援事業所との連携は積極的に行っております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当者不在の為、現状での機会はありませんが、必要時には保護者同意のもとで、積極的に連携を図って参ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		公的な専門機関とは、保護者了解のもと、日常的に意見交換や協議を行っております。また、研修の機会も積極的に活用しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	立地や事業内容から、積極的な交流機会は想定できておりません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	機会の少なさから、現状参加できていませんが、機会があれば積極的な参加に努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎月活動記録をお示しすると共に、保護者来所時は担当による達成度合いや進捗状況について報告しています。また、機会を捉えて家庭や学校での様子を把握するよう努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		相談時のみならず、普段の話の機会も通じて、家庭における子どもへの対応についての助言を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に利用に係る説明を行うと共に、疑問点は随時お尋ねできる旨を伝えております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者に対し、随時の相談が可能であることをお知らせしています。相談には管理者が対応し、必要に応じて助言、同意の上での機関連携を図っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	様々なニーズの中で、保護者連携のコンセンサスは得にくい所ではありますが、参観等を通じた接点の機会を模索して参ります。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		事業所として苦情受付の担当を定めると共に、契約時において、苦情時の相談体制をお示しております。発生時においては、真摯に拝聴の上、善後策の模索など誠実な対応を心掛け、再発防止のための職員周知を図っております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	行事予定やお知らせ等については、都度全員にお手紙や連絡を通じて周知を図っております。会報等は必要時のみの発行に留まっておりますことから、定期発行できるよう改善を図ってまいります。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		契約事項に個人情報の扱いのルールについて定められており、合意の上で、ルールに則った運用を行っております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		契約時のみならず、普段より親和的交流を図る中でニーズを把握するように努め、必要に応じて適切なコミュニケーション（説明の仕方、手紙等）を取るよう心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	個人情報や安全面の確保の観点から、現状は交流事業の実施はありません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		事態別マニュアルを作成し、職員周知の上で運用を行っております。保護者に対しては、緊急時における対応や避難経路を示した書面をもとに説明の上、お渡ししております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		災害時マニュアルを策定し、年2回の防災学習、及び避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		少なくとも年1回、虐待に係る研修機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		契約時に十分な説明の上で合意形成を行うと共に、計画書にも記載しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		初回面談時において必ず確認の上、必要に応じて医師の指示書確認も行います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事案発生時に速やかに報告、共有の上、対策防止策を都度講じています。